

北海道における障害者の生涯学習

—過去・現在・未来—

今年で5回目を迎える共生社会ブロックコンファレンス in 北海道。今回は、これまでの取り組みを振り返り、道内で行われている様々な生涯学習の実践から学び、北海道における共生社会の実現を目指して未来の形を考えます。

日時

2024年2月3日(土)

10:30~16:00 (10:00 受付開始)

オンライン
同時配信
あり

参加
無料

どなたもでもご参加いただけます
※当日の飛び入り参加も可能

参加申し込み方法は
裏面をご覧ください。

10:30~12:10

第1部

トークセッション：手話通訳あり

「北海道における障害者の生涯学習推進 ～過去・現在・未来～」

同時配信
あり

- ▶ NPO法人コミュニティワーク研究実践センター 理事 宮崎 隆志 氏
- ▶ 医療法人稲生会 理事長 土島 智幸 氏
- ▶ 北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川 社会教育主幹 尾山 清龍 氏

12:10~13:40

第2部

Cafe サボッチャ (お昼休憩～ご自由にご参加ください)

会場中継
あり

- ▶ 各種展示・体験ブース
(EyeMoT、バリアフリー図書、ミニアイヌ語講座、他)
- ▶ コーヒー & スイーツ
(はるまき、パウンドケーキ、ドーナツ)



13:40~16:00

第3部

パネルディスカッション：手話通訳あり

「北海道内各地の実践 ～過去・現在・未来～」

同時配信
あり

- ▶ NPO法人カムイ大雪バリアフリー研究所 代表理事 五十嵐 真幸 氏
- ▶ いっしょにね！文化祭実行委員会 事務局 田島 美穂 氏
- ▶ Uスタイル北海道プロジェクト DEI & Sアドバイザー 鹿野 牧子 氏
- ▶ みらいつくり研究所 学びのディレクター 松井 翔惟 氏

会場

札幌生涯学習センターちえりあ (6F 講堂)

北海道札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 (地下鉄東西線 宮の沢駅直結)

これまでのコンファレンス ...

2019年度



「ともに学ぶ共生社会を目指して
～社会教育の実践を通じたコミュニティの可能性～」

初年度は「社会教育」をテーマに開催をしました。北海道には、すでにたくさんの「ともに学ぶ」実践があるはず。そんな実践と実践が、「社会教育」「コミュニティ」をキーワードに、緩やかにつながり合う方法について考えました。



「コロナの時代における ともに学ぶ共生社会を目指して
～社会教育の実践を通じたコミュニティの可能性～」

「アフター・コロナ」という言葉が聞かれ始めていた2020年度は、あえて第1回のテーマを引き継ぐ内容で開催をしました。「ともに学ぶ・生きる」といった言葉の意味が揺らいでいるこの時代に、私たちに何ができるのかについて考えました。コロナ前後の比較をしつつ、オンラインを活用しながら、今後のコミュニティのあり方について提案し、議論しました。



2020年度

2021年度



「障害のあるひと ないひと
みんなでひろげよう 北海道の社会教育」

前年度に引き続き、全面オンライン開催となった2021年度。テーマに「みんなでひろげよう」とあるように、北海道各地で行われている11の実践を紹介し、参加者全員でアイデア会議（グループワーク）を行いながら、ともに学ぶ場を広げるための方法を話し合いました。午後には5つの分科会を開催し、分科会ごとに切り口を変えて、「ともに学ぶ」ための方法の検討をしました。



「体験！探検！レッツ共生！ウェルカム トゥ ザ マルチバース」

2022年度は「マルチバース」をテーマにしました。障害の有無、障害種別、職種や立場など、私たちの身の回りには様々な「違い」があります。「同じはずなのになぜ違うのか」を課題にするのではなく、「その違いをどう楽しむのか」といった発想で企画をし、11の分科会を探検するようにして楽しむ構成で実施しました。



2022年度

2023年度

「北海道における障害者の生涯学習 —過去・現在・未来—」

お申込み

右記の2次元バーコードより必要事項をご入力の上、お申し込みください。
※入力が難しい場合は下記にお問い合わせください。

締切：2024年1月26日(金)まで

参加申込フォームはこちら



※当日は自由な服装でお越しください。

※コンファレンス当日の写真や画像については、HPや報告書等で活用する場合がございますので予めご了承ください。

コンファレンスに関する問合せ

医療法人稲生会（いりょうほうじんとうせいかい）
〒006-0814 札幌市手稲区前田4条14丁目3-10
TEL 011-685-2799